

平成 27 年 10 月 29 日

各 位

会社名 日本調剤株式会社
 代表者名 代表取締役社長 三津原 博
 (コード番号 3341 東証第 1 部)
 問合せ先 常務取締役 鎌田 良樹
 (TEL. 03-6810-0800)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 4 月 30 日に公表した平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 207,523	百万円 8,200	百万円 7,434	百万円 3,583	円 銭 255.55
今回発表予想 (B)	220,455	10,742	9,491	5,611	400.17
増減額 (B - A)	12,932	2,542	2,057	2,028	
増減率 (%)	6.2	31.0	27.7	56.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	181,844	6,647	6,003	2,778	194.48

※当社は、平成 27 年 10 月 1 日を効力発生日として、1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の連結業績予想における 1 株当たり当期純利益については当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した数値を、ご参考の前期実績の 1 株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した数値を、それぞれ考慮した金額を記載しております。

2. 修正の理由

平成 28 年 3 月期につきましては、主力事業である調剤薬局事業を初めとして、各事業セグメントともに順調に売上高が伸長したことに加え、業務の効率化推進等による経費抑制効果などにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに平成 27 年 4 月 30 日発表の連結業績予想を上回る見込みとなりました。

調剤薬局事業におきましては、政府方針である医療費増加抑制施策を踏まえ、ジェネリック医薬品の使用促進並びに在宅業務の取り組み強化を全社をあげて推し進めたことなどによる調剤報酬の増加、大型の新規出店・既存店実績の堅調な進展に加え、C 型肝炎治療薬の処方せん応需が大きく増加したことなどによる増収効果、各種経費のコントロールなどにより、期初予想を超える実績となる見込みです。

また、医薬品製造販売事業におきましては、きめ細かな販売戦略の徹底に加え、各種経費のコントロール、在庫管理の徹底などにより期初予想を超える実績となる見込みです。

医療従事者派遣・紹介事業につきましては、薬剤師派遣に対する旺盛な需要を背景に順調に業容を拡大しており売上高は期初予想を超える見込みですが、来期以降のエントリー数増強に向けた広告宣伝活動強化などにより経費が増加する見込みです。

(注) 上記の業績予想等は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、これら予想数値とは異なる可能性があります。

以 上